

優勝

竹中拓海



竹中拓海 形の部で全国制覇

七月二十九・三十日に盛岡アイスアリーナで行われた第四十九回小学生・中学生全国空手道選手権大会の小学生男子形の部で優勝。組手の部でもベスト8の好成績を収めました。(上写真は平安五段)

拓海君に優勝インタビューをしました。

- Q1 全国大会に向けて、頑張った稽古は？  
とにかく、けいこは全て頑張りました。
- Q2 頑張った稽古の成果は出せたか？  
形は充分に出たと思います。組手は練習で中段を練習してたのに、試合ではなぜか上段が出ました。
- Q3 記憶に残った試合は？  
形 決勝戦です。  
組手 五回戦と準々決勝です。
- Q4 今回の全国大会でのうれしかった事 形で優勝、組手でベスト8だった事。悔しかった事 組手でメダルを取れなかった事。
- Q5 形で優勝出来た一番の理由は？  
たくさん稽古をして、試合で落ち着いて出来た事。
- Q6 今後の稽古に生かしたい事は？  
これに満足せず、次の目標を達成出来るように頑張る！組手の間合いのとり方もうまくなりたい。
- Q7 次の目標は？  
関東大会形、組手優勝。全国で形2連覇、組手でメダルを取る事です。
- Q8 将来の目標は？  
大人の世界大会に出場して優勝する事と、空手の先生になる事です。

更なる目標に向けて頑張れ拓海！ 広報部より

師範から拓海へ

拓海君、全国優勝おめでとう。この一年を振り返って昨年の全国大会では入賞出来ず予選敗退、すごく悔しがっていましたね。あの悔し涙があったからこそ今年の嬉し涙があったのです。今年の拓海君の成長は「技」も伸びましたが技以上に「心」が強くなったと思います。来年は追う立場から追われる立場になります。更なる目標として組手・形と総合優勝を狙って頑張りましょう。

押忍

師範 橋口辰秋